

「働く」とは ～協力し合うことを学ぶ～



投票用紙を前に真剣に考えています



今年度の生徒会三役が決定！



皆で協力し、良い園をつくっていきます！

皆さん、こんにちは。日本では秋から冬に変わり、寒さが訪れている頃でしょうか。こちらカンボジアでも、日照時間がだんだんと短くなり、日本のような寒さではありませんが朝晩はひんやりと冷たさを感じるようになりました。

子どもたちの通う学校では例年通りであれば、10月に新学期開始となりますが、今年は高校卒業試験の厳格化や再試験により、小中学校の子どもたちの新学期開始が11月となりました。それにより例年よりも長い夏休みとなりますが、その分、園でしっかりと予習復習に取り組んでいきたいと思えます。

今回のDream通信では、今回で第3回目となった生徒会選挙と毎年恒例のバーベキュー大会についてお伝えします。

生徒会選挙

10月4日、第3回生徒会選挙を行いました。

「夢追う子どもたちの家」の生徒会を発足させてから、2年が経ちました。この生徒会は、子どもたちが自分たちの園をよくするために主体となって考えること、協力し合うこと、自分の仕事に責任を持つこと、の3つが出来るようになって欲しいという思いから始まりました。これまで2年間、職員のアドバイスを取り入れながら、自分たちでルールを考え、住み良い園にすることを目指してきました。

生徒会長、副会長は、子どもたち自身の選挙によって決まります。職員は口出ししません。今年度の生徒会長は高校3年生のモン・ニセツ、副生徒会長は高校3年生のテーン・ヴィチエツとソーン・カンチャナーに決まりました。3人とも高校3年生のため、来年には卒園となります。最後の1年間、皆で協力し合い、さらによい園にしていきたいと抱負を述べました。

生徒会長、副会長の初仕事は、委員会メンバーの選出です。園では必要な仕事を分担するための委員会も設けています。園では、現在高校生が20名ほどになり、彼らはもうじき園を卒業していくこととなります。なので、高校生は自分たちがやってきた仕事を後輩に引き継ぐこと、引き継ぐ側の子どもたちは



準備も手分けして行ないます



美味しそうに焼きあがりました！



暗くなるまで食べて、お腹いっぱいです



ビンゴ大会も盛り上がりました！

自らの成長のために努力すること、高校生はそれをサポートすることを考慮し、人選を進めました。

大きい子も小さい子も、全員が協力し合うことを通して、自分たちで園内の問題解決やルール作りを行なっていく文化を作り、今後も継続して行ってもらいたいと思います。また、特に高校生以上の子どもたちには、それぞれの仕事を責任を持って全うすること、自分たちの暮らす園のために働くこと、後輩にそれを教えることを通し、園を巣立ってからでも、責任を持って仕事を果たすことができ、社会のために考え行動できる人間になるべく、学んで欲しいと思っています。

BBQ大会

学校が休みの日、子どもたち、職員全員の総勢85名でBBQ大会を行ないました。

バーベキュー大会は、普段勉強や農作業に頑張っている子どもたちへのご褒美として毎年行っています。

またそれだけでなく、準備から片付けまで全員で協力して行うことを学ぶ機会、また園で育った野菜や鶏肉を食べ、収穫の喜びを分かち合う機会でもあります。

子どもたちは何日も前からこの日を楽しみにしていました。バーベキュー用地の草刈りに始まり、当日の準備と、皆率先して働きました。

開催場所は園内の裏農園です。調理場からカットした野菜や肉、皿など、皆で手分けして運んでいきます。炭を囲って煉瓦を4つ置き、網をのせればバーベキュー場の完成です。大きい子も小さい子も、それぞれ役割分担をし、各グループ協力して準備をしました。当日は、開始予定時刻の4時には野菜や肉が焼き上がり、食べる準備まで整っていました。

また、この日はプノンペンで買ったエビやイカ、ししゃもなども並びました。海から遠いため、近場の市場では手に入らない特別な食材です。バーベキューにして皆で食べれば、海の幸も、苦勞して準備した野菜や肉も美味しさはひとしおです。お腹がいっぱいになったところでシメの焼きそばです。もうこれ以上食べられない！という子もいれば、ほとんどの子どもたちはこの時ばかりは食べなければと張り切って完食しました。

バーベキューの後には、今年初めてとなるビンゴ大会も行い、とても盛り上がりました。この日の子どもたちの日記には、バーベキューがとても美味しかったこと、そして職員への感謝の言葉が綴られていました。

日々の農作業も、準備も全員で協力し合い頑張ったからこそ、楽しいバーベキューを行うことができました。子どもたちには、今後も日々怠けることなく、一所懸命働くことを忘れないでもらいたいと思います。